

課題曲より

A1級決勝用課題曲が 選択必須に

今年度の試みとして、A1級決勝大会では予選・本選での4曲から2曲選択に加えて、決勝用課題曲の選択が必須となりました。長いコンクール期間中、レッスンに課題曲だけではなく教則本を取り入れ、多くの曲に挑戦することで更に力を伸ばすことがねらいです。

B級全国決勝大会、 2日間開催、4曲演奏に

例年予選・本選の4曲より3曲を演奏していたB級全国決勝大会。今年度より本選までの4曲全てを演奏する規定に変更となりました。より長い時間をステージで過ごし、四期を弾き分けることで実力を養うことが意図されています。これに伴って、B級全国決勝大会の日程は従来の1日間開催から2日間開催に変更となりました。

B級、4曲演奏を指導して

酒井郁江先生(正会員)

Comfort さばえステーション代表。2013 年度コンペティション B 級特別指導者賞受賞。



今年は二人の生徒が B 級全国決勝大会に参加しました。4曲演奏になり、全ての時代を弾くことで、様式の移り変わりがより分かりやすくなったと思います。また演奏時間が長くなることで集中力のトレーニングにもなり、C 級への架け橋となったのではないのでしょうか。私の教室では課題曲が発表になった段階で予選・本選で演奏する全ての曲を決め、まずは4曲全体に目を通すようにしています。最終的な目標図を描いてから、予選曲、本選曲と順番につめて練習するので、4曲通して弾く練習に本選終了後初めてとりかかるわけではありません。その点では3曲から4曲になったことで負担が増えることは無かったですね。これまでは4曲中どの3曲を選ぶか組み合わせを考えるのが大変だったので、そういった点でも4曲全てを弾けることは嬉しいですね。



B 級全国決勝大会 津田ホールにて。
8月20、21日の2日間開催となりました。

読者からの声

三好芳子先生(指導会員)

鳥取県倉吉市在住。
まなたんステーション代表。



「課題曲指導のヒント」には、言葉がけの仕方など、自分の力だけでは教えきれない細かい部分まで解説されていたので、とても役に立ちました。生徒にとっても読みやすい内容だったので、コンペに参加する子もしない子も、レッスン中に一緒に目を通していましたね。内容を参考に自主的に練習してくる子もいて、本当に重宝しました。この別冊をきっかけに「アナリーゼ特集」を手に取り、さらに勉強される方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

「コンペティション
課題曲指導のヒント」が
ムジカノーヴァ
別冊付録に

昨年9月より始まったムジカノーヴァのピティナ会員年間定期購読。2013年3月号ではA2級・C級の課題曲8曲を取り上げた「コンペティション課題曲指導のヒント」がピティナ定期購読者限定の別冊付録となりました。「アナリーゼ特集」とは異なる視点から、課題曲の解説・指導法が紹介されています。好評により、ピティナ定期購読者向けの別冊付録は2014年以降も継続される予定です。

ムジカノーヴァ(2013年3月号) 別冊付録執筆者

秋末直志、池川礼子、永瀬まゆみ、
根津栄子、パップ晶子、藤原亜津子、
丸子あかね、渡部由記子

